

# はばたき

No. 15



1984. 2

神戸市立王子動物園

## われら地球家族

オリンピックではないが、世界中からはるばるとやって来た約200種の野生動物と毎日一緒に暮しているのが、わが王子動物園である。人気者はなんと云っても、ゾウ、ライオン、キリン、チンパンジーといった熱帯地方のもの、オランウータン、インコ類は東南アジア、ピューマ、オセロット、ラマは南北アメリカ、北極グマ、南極のキングペンギン、オーストラリアからはカンガルー、地元のアジア大陸からはシベリアトラ、シフゾウ、ベニガオザル、しかし、何と云っても珍しい動物を次々と紹介しているのは中国で、十数年前までは幻の動物だったジャイアントパンダも同国の好意で神戸にまで来てポートピアで多くの人々の人気者となった。また、レッサーパンダ、黒葉猿やカケイ類も友好都市天津市よりの贈物として市民にお目見得している。中国にはまだまだ、金絲猴やターキンなど国外不出の動物も多くいる。これら野生動物たちと人類で地球家族が形成されており仲よく暮していかなければならない。

昨年パンダの生息地の竹や笹が何十年目かの開花期を迎え大量に枯死しはじめたので、中国の関係者はもとよりWWF（世界野生生物保護基金）や関係機関が協力して救援活動に入り、成果をあげている。多くの人々は無事パンダが救出されることを祈った。丁度同じ頃、六甲山の登山路でハイカーがイノシシの餌付けに成功し、人と野生動物の触れ合いが美談？の様に報じられ市民の話題となった。何かパンダ救出作戦と同列の動物保護として人々のヒューマニズムに訴えかけているが、こと、野生生物保護に関しては正に正反対の事例であり、正しい動物保護の意義を知っていただきたい。なにも、パンダが貴重な動物でイノシシがありふれた動物であると云うのではなく、その保護のあり方に根本的に相違があるからである。パンダの救出は自然のサイクルによって生息地の竹や笹が枯れ、パンダの大切な食物が失われつつありこのまま放置すればパンダの生存に非常に重大な危機が迫ったため多少の危険を侵しても人為的に救出するのが好結果が得られるとの判断から実施されたもので、それなりの成果をあげつつある。中国奥地の高地にしか生息しないパンダは地球上の貴重な財産であり、これを保護

できる生物は人類だけで、われわれの責務でもある。一方六甲山のイノシシはもともと六甲山系に太古の昔から生息していたもので人工的な開発によりだんだんと安住の地が狭まり食物の自給が難しくなって人里近くまで危険を承知で姿を現わしたままた人類と遭遇し容易に人工の食物を得る習性を身につけたもので、自然界の摂理に反するものである。栄養豊富になったイノシシ族は自然の制約を超えて一族の繁栄をもたらす。その結果ますます人間社会への接近の機会が多くそのうちに非難、公害の声が上り必ず排斥を受ける時を迎える。しかし時すでに遅く最早もとの野生に戻れず絶滅の途をたどるほかなくなる。これは観光地などで日本猿の餌付けをした類末を見れば明らかである。我田引氷的になるが、野生動物との触れ合いはやはり動物園ですべきであり、われわれ動物園においてもより高度に自然界、動物界の勉強の場としての機能を高めて期待に答えたいと願っている。

神戸市立王子動物園長 福岡 順三

### も く じ

- ◆われら地球家族 ..... 2
- ◆さよなら神ちゃん！  
ありがとう神ちゃん！ ..... 3
- ◆中国の動物園見学記 ..... 6
- ◆動物の表情くさる編) (カラーグラフィック) ..... 8
- ◆動物育児日記
  - 茶色火鶏のヒナが生まれました ..... 10
  - ヒワコンゴウインコのヒナ成長 ..... 11
- ◆飼育うらばなし
  - シマリステん末記 ..... 12
- ◆動物なぜなぜ問答 ..... 13
  - カバが口を閉じても歯が2本いつも見えているのはなぜですか？
  - 動物にも虫歯できるんですか？
- ◆トピックス ..... 14
- ◆うら表紙
  - ねずみ年版画コンクール特別賞入賞作品

表紙写真 シロカケイ  
(撮影 福田元二)

# さよなら神ちゃん! ありがとう神ちゃん!

今、このような神ちゃんの思い出を書くことは、ほんとうのところ、お断りしたい気持です。

いや、それでも神ちゃんが生きてきた9年6ヵ月という短くとも尊い命の記録を見て頂くことが、今は亡き神ちゃんへの祈りになるのではと思いつつ記しました。

## 《生いたち》

昭和49年5月4日。子供の日の前日でした。母親のハッピーは神ちゃんにうまく乳をのませ、やさしく世話する姿からは、何の心配もありませんでした。しかし、お産したあと母親の経過が思わしくなく色々と手当をしましたが、残念なことに神ちゃんを残してこの世を去りました。

そこでは乳ビンで乳を飲ませ人手で育てることになったのです。2時間おきの乳とオシメの取替えも大変ですが、ほんの僅かなことで体調をくるわせてしまう生れたばかりの赤ん坊は特に夜の世話が大切であるため自宅に連れ帰って育てたのです。

生れた時の体重1800g

## 【生後1ヵ月】

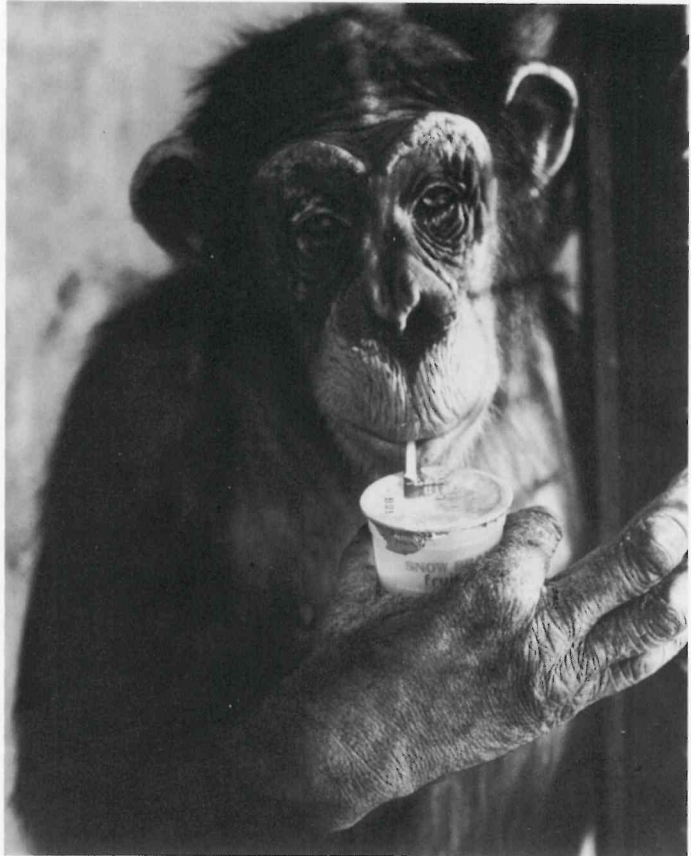
1ヵ月までは乳とオシメの取替えのあとは眠うてばかり。よくオシッコするのでオシメ<sup>カレ</sup>疹が<sup>カレ</sup>でき赤ちゃん用パウダーを使う。

生後35日目ごろ眼が見えだしたことを知る。

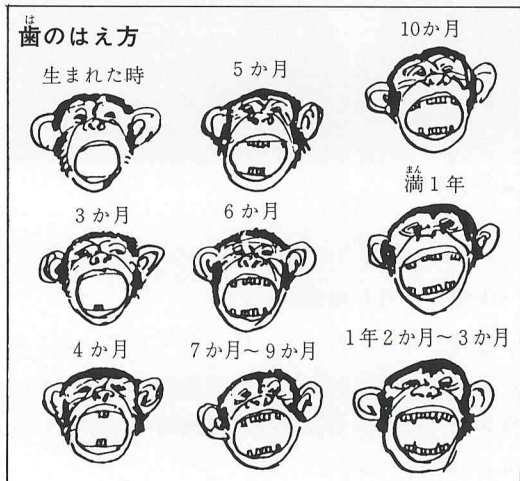
## 【生後3ヵ月】

歯が生えだす。そして脱腸であることを知り手当する。

暑いと顔やおでこに汗をかく。乳のあとよくシャックリをした。そして寝返りをはじめた。



▲生前の神ちゃん（8才）





▲生後1ヵ月



▲生後8ヵ月



▲生後1年

〔生後4ヵ月〕体重3.5kg

腹ばいをはじめ、そしてお座りもできるようになった。ヨダレを多くだし歯が次々生える。指を吸い始める。昼間、動物園のベビーハウスで見てもらう。

〔生後8ヵ月〕体重5.4kg

手足をしっかりと突張って歩く、つまり親と同じ四つ足歩行をはじめた。このころから知恵の発達が目立つ。夜中、時々、寝言を言うのにおどろく。

〔生後1年〕体重8kg

〔生後4年〕体重30kg

門歯より抜けはじめ永久歯へ生えかわりだす。

〔生後6年〕体重40kg

ベビーハウスより類人猿舎へ移った。

〔生後8年〕体重50kg

おとなになる。メスの秋ちゃんをお嫁さんとして迎える。

同居をはじめたころは時々咬みつきあうケンカもしたが、次第に仲よく遊び、抱きあい、ひよっとしたら赤ちゃんが生れるのではと、うれしい経過を見せていた。

しかしながら元気そうであってもなぜか神ちゃんはやせ形で、父親ジヨニーのようにずんぐりした体格にはなってくれない。そして、

〔生後9年6ヵ月急逝の日〕

昭和58年11月11日。私はその日公休日だったので、“動物の話”をしにある学校に行くことになっていました。

出かける前、神ちゃんはいつも以上に悲しい声を出し手をたたきながら泣いたことを覚えています。午後2時頃、神ちゃんが倒れているという知らせを学校で受けすぐ帰ってきましたがかわいそうなことにもう助けることができませんでした。

動物園では原因を知るため解剖をしますが、その結果、急性すい臓炎であったことが分かりました。

《神ちゃん死亡のニュースへのおくやみ状 730通》

○しんちゃん、なぜしんだの、おかあさんにあいに行ったの（北六甲幼稚園、ささきりょうた）

○しんちゃん、しんでかわいそう。しんちゃんもういちどつくってください（北須磨保育センター きんぎょぐみ）

○かなタイプの手紙。

はいけい しんちゃんのふほうをしり、あま



▲秋ちゃん(左)と一緒(9才)

りとつぜんのこと おどろくとどうじに ただ  
ただ かなしく ざんねんです。3ねんほどま  
え さわらせていただいた しんちゃんの け  
なみと てのひらの ぬくもりを おもいだし  
ています。

おおじ どうぶつえんを おとずれた こど  
もたちが おとなに なり ははに なり ち  
ちに なり ぼくたちが としとった ときで  
も しんちゃんは われわれの こころの な  
かで いきつづけて いてくれる ことと し  
んじて います。こころより しんちゃんの  
ごめいふくを おいのり します。 けいぐ。

58年11月14日

笑 福 亭 伯 鶴 (視力障害者で落語家  
としてご活躍中)

○神もぼくもトラ年うまれだと分って、それか  
ら神ちゃんのこと忘れたことはありません。こ  
の前亀井さんと会いっしょにペンギンの所ま  
で行くと神ちゃんたちが「ギャーギャー」と大  
声で泣きだし、神ちゃんはあっちへ行ったり、  
こっちへ来たりして喜んでいました。あのとき  
いたお嫁さんの秋ちゃんは今どうしていますか。  
(小学三年 もろた かずあき)

#### 《皆様へ》

わがことのように可愛がって下さいましたチ  
ンパンジー神ちゃん(9才6ヵ月。人間では20才)  
が去る11月11日午後6時に急逝いたしました。

死因は急性すい臓炎であったとはいえ、助け  
てやることができなかつたこと無念でなりません。

その日の朝も出かけようとした私に何時も以

上に行かないで!と泣き、手をたたいた神ちゃん  
の姿が眼がしらから消え去りません。

生前には神戸はもとより全国の多くの方々か  
ら健かに育つよう祈って下さったこと、心から  
お礼申し上げます。

ほんとうにありがとうございました。

また、神ちゃんのために、供花や弔電、お供  
金など多数お寄せ下さいましたことを感謝いた  
しますと共に、お供金13万余円は園内で死亡し  
た動物たちの慰霊祭などに使わせて頂くことにな  
りました。

#### 《神ちゃんの部屋に移ったポピアちゃんの母子》

神ちゃんのいなくなったあとの秋ちゃん(8  
才)は、元気でオスのジョニー(34才)と同居  
しています。そこで空部屋になった神ちゃんの  
部屋には、いま雌のユキと長女のポピアの親子を  
入居させ皆様に見て頂いております。

この愛称ポピアちゃんは、神ちゃんの母親が亡  
くなったあと、二度めのお嫁さんユキと神ちゃん  
の父親ジョニーとの間に生れた子供で神ちゃん  
の義理の妹になるわけです。愛称は、56年6  
月7日生、ちょうどポポートピアの年だったので  
ポピアちゃんとなづけました。

どうか神ちゃん同様に可愛がって下さることを  
心からお願いいたします。 (亀井一成)



▲ユキとポピアちゃん

# 中国の動物園 見学記

昨年(昭和58年)は神戸市と中国の天津市が友好都市として手を結んでから10周年になり、その記念行事の一つとして、王子動物園から天津動物園へチリ・フラミンゴ10羽とアカ・カンガルー3頭を贈りました。これらの動物の輸送には私たち(谷岡・安福)2人が当りましたが、この機会に北京、天津、無錫、上海の各動物園と中国の珍しい動物を見ってきました。

## ◇北京では野生のラクダを

9月19日午前10時30分、フラミンゴとカンガルーを乗せた日航機は大阪国際空港を飛び立ち一路北京へ。約4時間後には無事北京空港に到着、天津市から園林局や動物園の幹部の方々、それに北京動物園から李揚文園長らの出迎えを受け、再会を喜び合いました。輸送した動物は天津動物園のスタッフによって北京動物検疫所に収容され検査を受けることになりましたが、ここは立入禁止のため私たちは入ることができず、気になりながら北京で一夜を過し、翌朝元気であるとの報告を受けホッとしました。

翌日、早速、北京動物園の見学、李園長らの案内で園内を見て回りましたが、面積は王子動物園の10倍、動物の種類は580種とスケールが



天津動物園のある水上公園

大きく、とても1日で見ることができません。結局、私たちが希望する動物だけに絞りましたが、それでも1日かかって約半分しか見れないほどでした。私たちが初めて見る中国の珍しい動物が数多く、特に興味があったのは世界中でここだけといわれるフタコブラクダの原生種でした。6才ぐらいだそうです。飼育に慣らすまで大変な苦勞があったようです。そのほか、ネコ科のコレクションも多く、保護された野生のトキなども見せていただきました。園内の動物学名札や説明板はすべて美しく描かれた陶器製で、しかも動物園の自作と聞き、感心するやら驚くやら、さすが首都の動物園だけあって立派なものだと思いながら、北京を後にして急行列車で天津へ向いました。

## ◇ロンロン、サイサイと再会

天津駅では女性で美人の賀振・園林局副局长ら大勢の友人たちの出迎えを受けて感激、翌日王屏・外事弁公室顧問や王栄・園林局長を表敬訪問した後、早速、天津動物園へ。陳国斌園長や刘文生副園長の案内で園内を見学しました。私(谷岡)は今回で4回目でしたが、来る度に園内が整備され、新しい動物舎や珍しい動物が増えていることに感心しました。これまでに王子動物園から贈ったチンパンジー、カバ、キリンなど数々の動物たちも元気で、中



▲野生のラクダ(北京動物園)



▲金糸猴の赤ちゃん(天津動物園)

でもラマとピューマにはかわいい子供が誕生し、入園者の人気を集めていました。

しかし、何といても人気者はジャイアントパンダです。ポートピアの時、神戸にやって来た「ロンロン」も「サイサイ」も元気で、特に「サイサイ」は大きく成長していました。2年振りの再会で私たちが名を呼ぶとこちらを振り向き近寄って来ます。中に入って抱きかかえたいほどでした。陳園長の話によると、時々日本の子供たちが見学に来ると「サイサイ」は喜んで愛さようを振りまく、とのことでした。

猿舎ではパンダよりも珍獣だといわれる金絲猴という金色の毛を持つサルが居ました。そして、2頭の小さな赤ちゃんが生れており、そのかわいいこと、ポケットに入れて持ち帰りたいほどでした。

私たちが動物を見て回っていると必ずその動物の担当者が現われ、握手を求めたり、質問したり、動物の飼育に対する熱意と友情は大変なものでした。そのため、天津ではほとんど動物園で過し、その合間をぬって今後の動物交流や意見交流など意見を交わし、非常に実のある日々でした。

#### ◇無錫で途中下車

3日間の天津滞在を終え、親しい友人たちと別れを惜しみながら夜行寝台特急列車で上海へ向いましたが、途中、無錫で下車し一泊することになりました。無錫は上海の近くで大湖という大きな湖（琵琶湖の3倍）があり大へん美しい町です。無錫の動物園は広大な錫恵公園の一角にあり、まだ小さな動物園ですが古風な建築



▲中国独特の動物舎(無錫動物園)



▲珍獣ターキンの子供(上海動物園)

物を上手に利用し中国独特のふん囲気をかもし出しています。動物数も多くありませんがツル類のコレクションは大したものでした。動物園を見学したその足で大湖を遊覧し、壮大で美しい景色に見とれながら無錫の町に別れを告げ、再び列車で上海へ向いました。

#### ◇ターキンの子供

最後の訪問は上海、北京と並ぶ中国のマンモス都市で活気に満ちていました。上海動物園は郊外にあり、元ゴルフ場を利用しているため広々しており、芝生のある広場もあり緑のある動物園です。陳・張両副園長らの案内で回りましたが広すぎて全部見ることはできません。園の中央に天鵝湖という大きな池があり種々の水鳥が放し飼いにされ、中でもペリカンの大群が大空を飛び交う光景は見事なものでした。また、中国原産の珍獣ターキンの子供が2頭居て元気に走り回っていたり、女性飼育員によくついでいる雲南象の子供など、興味のある動物が多く飼育されていました。

今回、中国の4都市の動物園を見学しましたが、どこの動物園でも多くの入園者でにぎわっている反面、ゴミが少なく園内が美しく、入園者のマナーが良いことには感心しました。又、飼育している人達も大へん熱心で私達に非常に親切で好意的であったことも心に残りました。最後に私達のためにご案内下さいました天津市および各都市の皆様にご挨拶する次第です。

(谷岡正之・安福 守)

# 動物の表情

## さる編



▲「だいまんぞく！」(オランウータン・雄)





▲ 「ああ、ねむたい」  
(マントヒヒ)



▲ 「さみしいなー」  
(フクロテナガザル)

▼ 「なんだ、このやろう！」(ボンネット モンキーとカニクイザル 右)



(撮影 福田元二)

# 動物育児日記



## ◆茶色火鶏の「ヒナ」が生まれました

昨年、中国天津動物園より親善動物として来園した、茶色火鶏夫婦に、1羽の「ヒナ」が誕生して元気に育っています。22個の卵を生みましたが、環境が気に入らないためか、私達の顔を見ると逃げ回り、まったく抱こうとしないのです。このような場合、卵を取り上げて、孵卵器でかえして育てる方法、他の鳥に託して、育ててもらう方法がありますが、ちょうどタイミングよく、数羽のウコッケイが巣ごもりしていたので、抱卵をしてもらうことにしました。ウコッケイの卵と、茶色火鶏の卵をこっそりとすり替えて抱かすのですが、卵の区別能力を持っていないウコッケイは、自分の産んだ卵と思い込み、熱心に抱き続け24日目に1羽の「ヒナ」がふ化したのです。それにしても、数多く抱かした割に、ふ化率が低かったことは、今後の研究課題にしたいと思っています。「ヒナ」は生まれた時体重37g、数時間後に、えさを食べたして、順調に成長、100日令では体重980gに達しました。このころ羽が生え揃い親鳥によくにできました。その後、測定を続けた結果、180日令で2kgに

なりそれ以上は体重が増加せず、現在に至っています。

### ◆実の親鳥の元へ戻す。

ふ化後、92日目に思いきって、育ての親からはなして生みの親鳥と同居を試みて見ました。ところがどうでしょう。両親は外敵が入って来たとはばかりに追いかけて回し、「ヒナ」は巣小屋に逃げ込み、まったく出てきません。そこで「ヒナ」に親とは別にえさを与えてみたところ、食べるものではありませんか。「よしこれでいける。」と思っていたところ、10日頃より「ヒナ」の行動範囲も広くなり、親鳥もいじめなくなってきました。今までの経験から、仮母が育てた「ヒナ」を実の親鳥の元に返した場合、ほとんど、いじめられるケースが多かったのですが、今回のようにうまくいった例は珍しいことです。目溜りで親子が好物のミルワーム(虫)をついばんでいる姿をぜひ見に来て下さい。なお、白火鶏、青火鶏、茶色火鶏と3種類がそろっているのは、王子動物園だけです。

(鈴木 忠)

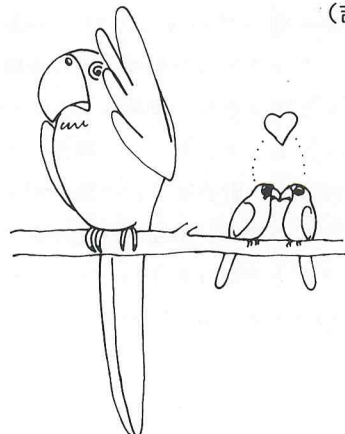
## ◆ヒワコンゴウインコのヒナ成長

ヒワコンゴウインコのヒナが、ふ化し大きく育ちました。このインコは、インコの仲間でも最も大きいコンゴウインコの一つで、全身緑色で、くちばしの上に赤い羽が生えている美しいインコです。56年と57年に2回も、ヒナをかえしながら育てませんでした。今回三度目の正直で、りっぱに育ちました。今回は、2羽もかえりましたが、今まで途中で、いずれも死亡しているのので、1羽は人工で育てる事として、ふ化後10日目に、親から離して育てました。しかし、残念ながら6ヶ月後には、死亡してしまいました。一方、親にまかせたヒナは、私たちの心配を吹き飛ばすかの様に熱心に育てました。産卵は、昨年4月13日で、それから約1ヶ月間、母親が暖ため5月11日と15日にヒナがふ化しました。生まれたヒナは、親指ぐらいの大きさですが、10日間もすれば3倍ぐらいにまで育ち、みるみる大きくなります。育すうは、母親だけが行ない、父親は巣箱の見張りです。親は大変子供をかわいがり、えさを食べるため巣箱から離れても、私達が巣箱に、近づくものなら、すばやく巣箱に戻り、翼の下にかくし、父親は私達を攻撃してきます。ヒナは、生まれた時は、丸裸で目も開いていませんが、まず綿羽が生え、それから鳥にとっては、一番大事な風切羽が生え初めます。このころには、目も開いておりかわいくなります。1ヶ月半も過ぎれば体の大きさは、親と同じ位になりますが、巣立ちはまだまだ、母親がこのころから、巣箱から離れる時間が長くなるため、ヒナは巣箱の中で、盛んに動くようになります。3ヶ月後には、体も親と変わりなく、尾羽が少し短いだけです。そろそろ巣立ちのころです。いつ巣箱から顔を出すのかと待ってい



ると、8月7日初めて顔を出しましたが、すぐに隠れてしまい、除々に慣れてくると、顔を出す時間も長くなり、体も出してきました。一週間後にしばらくためらっていましたが、母親にうながされて、意を決って飛び立ちました。一旦巣箱から離れると、二度と巣箱には戻りませんでした。まだ自分で食べる事が出来ず、親からえさをもらっていました。自分で食べようとするが、うまくいかずいつも母親の所から離れません。そのうちに母親もえさを与えないのか、1週間後には自分で食べていました。今では、1人前になり、やんちゃぶりを発揮していますが、母親と一緒に事が多くあまえんぼうです。春には、インコ舎も新しくなりますので、どんどん増える事と思います。また他のインコの仲間たちも増したいと思っています。

(吉竹 渡)



# 飼育うらばなし

## ◆シマリスてん末記

皆さん、入口近くのフラミンゴ池の手前にある大きな木の周りを金網でかこってあるのに気が付いた人があると思います。実は昨年秋にシマリスを飼っていた名残りです。入園者からリスはどこですかと問われても、当園には飼っておりませんと答えなくてはなりませんでした。リスは、案外人気者なのです。ペットとして飼われているシマリスなら、すぐ手に入るために一度園内の木を利用して、放し飼い出来ないだろうかと、試験的にやってみることにしました。うまくいけば園内の木を利用して、あちこちにリスの放し飼いが出来ると、夢は大きくふくれました。まず木の周りには、地上から逃げないように金網でかこい小屋も取付けました。最初10匹を小屋にならすため、3日間小屋の中にとじ込めて飼ってから放してやったところ、小屋を中心にして枝のあちこちに散らばっては小屋にもどってきて、えさを食べていました。しかし、1晩過ぎ2晩過ぎる毎に1匹減り2匹減り1週間後には4～5匹になり、とうとう2週間後には、全部いなくなりました。再び10匹入れる事にして、今度は小屋の中に飼う期間を長くして、十分に小屋にならしてから放しました。ところが前回と同様、2週間ほどで4～5匹に、なってしまいました。園内には、カラスが多く朝夕に集って来るのでカラスに殺されたのかと思っていましたが、入園者や、職員がリスをフラミンゴ池や、ずい分離れた所で見かけたと知らされ、早速ネズミとり用のカゴで数匹つかまえました。よく観察して見るとカラスではなく、野良ネコが小屋の所まで登りねらっていたのです。早速ネコ退治をすませて残ったリスにえさを与えていたのですが、どうも数の割にはえさの減り方が多いのです。どう

やら逃げ出したリスが、えさだけは食べにもどって来るのです。木に残っていたリスも、とうとう最後の一番(つがい)だけになりました。一番(つがい)だけなら、競争相手もいないので、このまま住みつくのではないかと思ったのですが、1ヶ月後には、すべていなくなりました。放し飼いの夢も、露と消えました。今回は、失敗しましたが、金網と木の間隔、リスの種類、放す数等の問題を解決すれば、再び放し飼いが出来る様になるのではないかと検討中です。

(吉竹 渡)



# —動物なぜなぜ問答—

◆カバが口を閉じても歯が2本いつも見えているのはなぜですか？

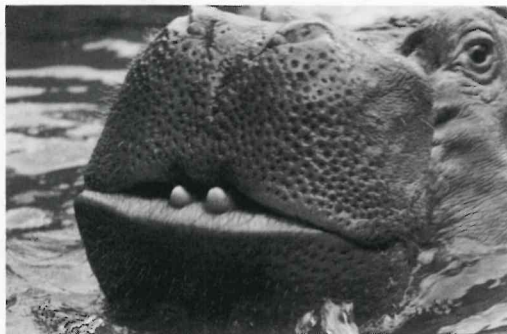
よく気づきましたね。よくカバに大きな口を開けさせ楽しんでいますが、犬歯と門歯の生え方がちがっていることに気づく人はなかなかいません。

実はカバの犬歯は私たちと同じように上下に生えています。門歯は前に向かって生えています。その上、犬歯と門歯だけは、ずっとのびているので口の外にまで出てきたりするのです。

しかし、犬歯がうまく生えていれば、上下の歯がかみあい、うまくすり減るのでそれほど大きくのびたりはしません。ただ、かみ合せの悪い歯をもった場合には異常に長くのびることもあります。

そこで、ノコギリで切ってやるわけですが、犬歯の場合よりもむしろ、前方に向いて生える門歯の方がかみ合せがないのですり減ることもなく写真のように外に出てくることもあるわけですね。

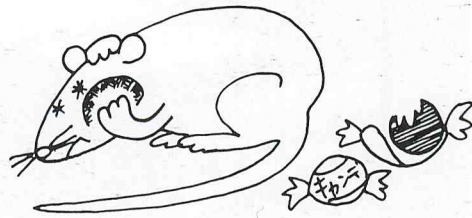
野生では川周辺の草を食べるので少々門歯がのびてもさほど不便にはなりません。動物園では小さく切ったえさを与えるので、門歯があまりのびると上下のくちびるで小さな物をくわえることができなくなります。そこで口を開けたとき歯に異常はないかいつも見てやっています。 (亀井一成)



◆動物にも虫歯できるんですか？

鳥「ぼくらできへんわ。歯ないもん」ワニ「わしらの仲間のあいだでもそんな話聞いたことないなあ。もしできたとしても、抜けた後に新しい歯がなんぼでも生えてきよるもんなあ」イヌ「うらやましいことですねえ。一度しか生え換わらない私達は乳類の仲間は、虫歯になるととてもつらいめに会うのですよ」鳥「そしたら虫歯できるん？」イヌ「はい。ヒトに飼われるとね、どうしても甘くて軟らかい食事が多くなりますからね。虫歯予防ということで獣医さんに歯石を取ってもらう友達もたくさんいますよ。ずっと昔の私達の祖先が聞いたら何と言うでしょうね」ワニ「オオカミのことやね。ほんまに野生動物は強いぞ」サル「そうでもないよ。動物園にいると野生動物でも虫歯にかかるのがたくさんいるよ。特に私らはお客さんからたくさんのお菓子をもらうからね。日曜日ともなるともうそれだけでお腹が一杯になるもん」イヌ「虫歯になる原因は色々あって、甘い食べ物ばかりが悪いのではないでしょうけれど、どうも人間に近づき過ぎるとよくないみたいですね。虫歯の原因を探るため実験に使われているネズミさんなんか、人間の食事に似たものを食べさせられているそうですよ」ワニ・鳥・サル「……………」

(村田浩一)



# トピックス (58年7月～59年1月)

## ◆第13回サマースクール開く

毎年夏休み中に実施しているサマースクールが7月25日から8月2日まで園内で開かれました。今回も希望者が多く、抽選で427名の小学生が受けました。今回のテーマは「カバ」と「クマ」で飼育担当者の話や映画、それに実際の動物を真近かに見ながら熱心に勉強をしていました。又、今回も付添いの保護者を対象とした講義もおこなわれました。

## ◆「ヒレから手へ」展開催

須磨水族館と共同で、8月1日から1週間、さんちかインフォメーション、ギャラリーにおいて、「ヒレから手へ」と題した動物進化のパネル展を開催、骨格の実物標本や写真を展示し、道行く人たちの興味をひきました。



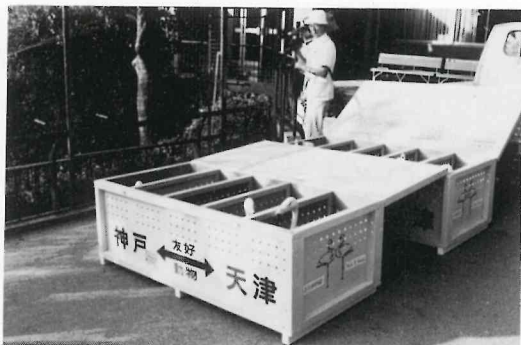
▲「ヒレから手へ」展

## ◆こうべの動植物園めぐりバス企画

王子動物園・須磨水族館・須磨離宮公園・森林植物園・六甲山牧場の5園館共同企画として、5つの自然を扱うこうべの動植物園めぐりバスツアーをおこない、100名余りの親子が参加、各園館とも普段は見られない裏方や趣向をこらした案内に熱心に見学したり耳を傾けていました。

## ◆天津へ友好動物贈る

昭和58年は神戸市と中国・天津市が友好都市として提携して10周年に当り、その記念事業の一つとして、9月19日に「チリフラミンゴ」10羽と「アカカンガルー」4頭を谷岡副園長と安福飼育員が付添って空輸、10月18日には記念式典のため訪中した宮崎神戸市長らによって天津動物園で贈呈式がおこなわれました。



▲出発直前のフラミンゴ



▲天津動物園での贈呈式

## ◆「ねずみ年、賀状版画コンクール開催

王子動物園・神戸新聞社・サンテレビジョンの共催により、恒例の賀状版画コンクールをおこないました。幼稚園児から大人まで2012点の応募があり、版画家の川西祐三郎先生の審査により特別賞7点、金賞30点、銀賞100点を選び、12月22日から1月22日まで大丸神戸店、王子動物園で展示、又、1月15日には神戸市勤労会館大ホールで表彰式をおこないました。（裏表紙参照）

## ◆「動物園、この一年」展開く

さんちかタウンのアドウインドウで12月1日から31日まで1ヵ月間、「'83こんなこともありました」と題して、昭和58年中に各種新聞に載った記事を集めた写真パネルを展示して昭和58年を締めくくりました。



▲「'83こんなこともありました」

## ◆ハツカネズミを展示

昭和59年はねずみ年、これにちなみ1月2日から16日まで、動物園正面入口附近で、プラスチックケースを使ってハツカネズミ約200頭を展示しました。この展示ケースには職員が作った食パンの家を入れ、窓から出入りしたり屋根をかちったりするハツカネズミたちの仕ぐさに入園者は大喜びでした。



▲パンで作ったハツカネズミの家

## ◆人事住来

1月1日付で管理係長、渡辺由和氏が神戸市土木局公園緑地部主査として転任、後任に宮本武明氏が就任しました。

### 編集後記

タレントたちの新旧交替の激しいのに驚きます。動物園の動物の世界でもスターの変遷があります。消えてゆくものを惜しみながら新しいスターを誕生させるのが私たちの仕事です。ここに紹介する動物たちはその一部です。

この「はばたき」を皆さんのものにするためにたくさんの寄稿をお願いいたします。

（神戸王子動物園協会 山神 正）

### 王子動物園の版画絵はがき好評発売中！

国画会、日本版画協会会員で神戸在住の著名な版画家、川西祐三郎先生の描かれた王子動物園の版画について先号でその一部を紹介しましたが、この版画を5枚セットの絵はがきにしました。園内売店で1セット300円で販売しています。ぜひ、お求め下さい。



# ねずみ年賀状版画コンクール特別賞入賞作品

## 神戸市長賞



内海千恵

垂水区  
市立多聞東中 2年

## 神戸新聞社賞



小野田みや子

東灘区  
区立42小

## サンテレビジョン賞



桑原友紀

灘区原野宮町  
東栗楠小1年

## 神戸市立王子動物園長賞



林伸宜

垂水区  
市立多聞東中 2年

## 神戸市教育委員会賞



松永美保

垂水区  
市立多聞東中 2年

## 神戸市動物愛護協会賞



太田博子

中央区  
市立清風幼 4小

## 神戸王子動物園協会賞



山崎智明

垂水区  
市立神出中 1年

上段(左)より

神戸市長賞

多聞東中・2年……………内海千恵さん

神戸新聞社賞

神戸市東灘区・一般……………小野田みや子さん

サンテレビジョン賞

東栗楠小・1年……………桑原友紀さん

下段(左)より

王子動物園長賞

多聞東中・2年……………林伸宜さん

神戸市教育委員会賞

多聞東中・2年……………松永美保さん

神戸市動物愛護協会賞

清風幼稚園……………太田博子さん

神戸王子動物園協会賞

神出中・1年……………山崎智明さん



はばたき 第15号

昭和59年2月10日発行

編集：神戸市立王子動物園

TEL. (078)861-5624

発行：神戸王子動物園協会

TEL. (078)801-5711

神戸市灘区王子町3丁目1

印刷：梶原出版印刷合資会社

1部 100円

84021500